

## シンポジウム「次世代の災害医療」開催要領

### 趣旨

従来の災害医療は、災害が発生してからオペレーションが開始されてきましたが、災害の発生前から作動させるという新しいコンセプトを提案していきます。さらに未来のまちづくりのあり方、わが国の災害への向き合い方について、広く国民的な議論を促す端緒となる機会を提供します。

日本医師会「救急災害医療対策委員会」では、令和5年9月、有識者や関係省庁担当者の参加も得て同年6月大雨災害の被災地である愛知県豊川市における検証を通じて、気象庁、国土交通省等から発災前に得られかつ防災・減災上有益な情報が少なくないことを学びました。

そして、災害時にも命や健康を守る医療の継続性を担保するためには、医療を都市計画の段階から重要な柱の一つと位置付けて「未来のまち」を創生することが、特に災害の多いわが国において大切です。

さらに、国民が安心できる医療防災のイノベーションとスタートアップの推進の視点に立ち、金融を含めた社会資源をいかに投入するかという、創意工夫を含めた広い視野での国民的議論につなげることを志向するものです。

なお、本シンポジウムは令和6年度都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会を兼ねる。

**日時:** 2024年6月9日(日) 10:00~17:00

**場所:** 日本医師会館 大講堂 (WEBとのハイブリッド開催)

**企画:** 日本医師会 救急災害医療対策委員会 (山口 芳裕 委員長)

総括アドバイザー : 蛭間芳樹 (日本政策投資銀行)

: 玉木伸之 (横河電機未来共創イニシアチブ)

### 対象者:

- ・都道府県医師会災害医療担当理事
- ・都道府県医師会、郡市区医師会関係者、医療関係団体関係者、医療従事者
- ・国、都道府県、市区町村行政関係者
- ・防災、経済界等の医療以外の様々な分野の関係者
- ・さらに、メディア、日本医師会 YouTube 等で広く国民に提供

**担当:** 茂松副会長、細川常任理事、黒瀬常任理事

**プログラム:** 別紙

**特設サイト URL:** <https://www.med.or.jp/people/jisedai-saigai/> (近日公開)

※右の二次元コードからもアクセスができます

**問い合わせ先:** 日本医師会 地域医療課 (chiiki\_1@po.med.or.jp)



# 日本医師会シンポジウム「次世代の災害医療」

## プログラム

総合司会: 細川秀一 常任理事

挨拶: 松本吉郎 日本医師会会長

趣旨説明: 山口芳裕 日本医師会救急災害医療対策委員会委員長

構成(概要)(三部):

- ①「災害を先取りする」                      プランナー: 救急災害医療対策委員会委員長 山口芳裕
  - ・これまでの、災害が起こってからオペレーションが始まる災害医療を、平時、災害が予測された時から作動させる新しいコンセプトを提案する
  - ・気象庁、国土交通省、水害の専門家から、気象情報や河川情報、ハザードマップなどの情報へのアクセスの方法や得られた情報の読み解き方を学ぶ
  
- ②「医療の安全を包含した未来のまちづくり」                      プランナー: 東京大学 加藤 孝明教授
  - ・科学的視点からの気候変動と国際的な動向
  - ・都市計画の最も重要な柱の一つが医療であるという観点から、命を中心に据えたまちづくり
  - ・現実的に日本でどう前に進められるか、その方向性を訴求する
  - ・災害を乗り越えられる地域社会を創るという視点から、土地利用・災害時自立生活圏・地域社会との連携強化(地区防災計画)などについて議論する
  
- ③「命をまもる社会の仕組みづくり」                      プランナー: 日本政策投資銀行 蛭間 芳樹氏
  - ・次世代社会における医療・災害医療の“ありたい姿”を考える機会とする。
  - ・平時も有事も医療には限界があり、災害時に救える命は限定的にもかかわらず、医療界に対しては過度な期待、信望が存在する。
  - ・一方で、医療界は既得権益社会の象徴とも見られ、コロナ禍を契機にその既得権益を加速させているようにとらえられている。
  - ・これまで築き上げてきた平時・有事の「医療」と「日本社会」の関係、ひいては国民ひとりひとりに「私」の関係は、持続可能なのか。次世代のトップランナーと議論する。

総括: 茂松茂人 日本医師会副会長

## 開会の辞

10:00-10:05 開会あいさつ 細川秀一 日本医師会常任理事

## シンポジウムの主旨説明

10:05-10:10 主旨説明 山口芳裕 救急災害医療対策委員会委員長

## 第1部 座長 細川秀一 日本医師会常任理事

10:10-10:35 豊川豪雨・浸水の経験 小森義之(総合青山病院 院長/豊川市医師会副会長)

10:35-11:00 気象庁からの情報発信 下山利浩(気象庁総務部企画課防災企画室長)

11:00-11:25 ハザードマップと避難確保計画 蘆屋秀幸(国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室長)

11:25-11:50 水害対策の新たなコンセプト提案 土屋信行(リバーフロント研究所審議役)

## 昼休み

## 会長挨拶

12:50-12:55 会長挨拶 松本吉郎 日本医師会会長

## 第2部 座長 加藤孝明(東京大学生産技術研究所教授)

12:55-13:20 気象変動 芳村圭(東京大学生産技術研究所教授)

13:20-13:45 激甚化・増加する自然災害—医療機関に求められる事前の備え  
関山健(京都大学大学院総合生存学館教授)

13:45-14:30 気候変動への都市の適応 加藤孝明(東京大学生産技術研究所教授)

14:30-14:55 ディスカッション

## 休憩

## 第3部 座長 蛭間芳樹(日本政策投資銀行)

15:00-15:05 オープニング VTR

15:05-15:20 基調講演 蛭間芳樹(日本政策投資銀行)

15:20-15:35 ドローン 空飛ぶクルマ 村井宏行(Sky Drive GSO(最高戦略責任者))

15:35-15:50 自律分散水処理 前田瑠介(WOTA 代表取締役 兼 CEO)

15:50-16:05 遠隔医療 高木俊介(CROSS CYNG 代表取締役 医師)

16:05-16:20 空き情報可視化 河野剛進(バカン 代表取締役)

16:20-16:35 国境なき空間 武永賢(中井駅前クリニック 院長)

16:35-17:00 ディスカッション

## 閉会の辞

17:00-17:05 総括 茂松茂人(日本医師会副会長)